

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型サービス える・こぼん（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年1月14日 ～ 2025年2月1日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	2025年1月11日 ～ 2025年1月18日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりに合わせた、個別活動・集団活動を取り入れている。	子ども達の興味や発達に合わせて、個人の予定を立てている。 興味や年齢の近い子ども同士でルールある遊びや創作活動で集団での過ごし方や多彩な経験ができるように支援している。	活動の様子を、写真などで保護者の皆様に伝えていけるようにしたい。
2	医療的ケアや重症心身障害に精通した理学療法士、看護師が配置されている	保護者からの装具や車椅子、バギーなどについての質問や相談、医療的ケアや日ごろのケアについての相談に理学療法士、看護師が対応している。	引き続き、保護者が来所された時を中心に、相談等に応じていきたい。
3	自己選択、自己決定の機会があること	活動内容は、カードの中から選択できるようにしており、過ごす場も選ぶことができる。 おやつは、駄菓子が入ったかごの中から、好みのものを自分で選んでもらっている。 また、時には、手作りおやつを自分で作って食べるか、駄菓子を食べるかを選択する場合もある。	意思決定支援として、利用者一人ひとりが“はい”“いいえ”をどのように表現するかを把握しておく必要がある。 また、“はい”“いいえ”を表現する手段・方法を支援することも必要になる場合がある

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への避難訓練実施の周知が不十分	火災想定、水災害想定避難訓練を年に一回ずつ実施しているが、概ね同じ曜日に実施している。 参加している利用児の保護者は、避難訓練をしていることを把握していると思われるが、全保護者には、避難訓練を行っていることが周知されていないと考える。	①訓練様子を連絡帳や口頭で保護者に伝える ②SNSで訓練時の様子を発信する。 ③各種お知らせに、訓練実施の報告を掲載する。
2	各種マニュアルの存在を周知不足	各種マニュアルがあることを、全保護者に周知できていない。	年度初めに配布するお知らせに、各種マニュアルがあることを掲載する。
3	地域との交流機会、保護者同士の交流機会が不足	公園に出かけたり、近所を散歩をしたり、年に2回近隣の幼稚園との交流会を実施している。他にも、地域の方、利用者を対象としたイベントも開催している。	引き続き、あそびのプログラムに、公園や地域の公共施設への外出、散歩、交流会を取り入れる。 地域の方も対象としたイベントを開催する際には、“気軽に参加できる”をポイントに工夫したい。